

2019年11月22日

## ～ 未来の住環境を見据えて ～ 「SOMPOケア ラヴィーレ駒沢公園」がオープン

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 遠藤 健、以下 当社）は、介護付きホーム「SOMPOケア そんぼの家 駒沢公園」の建物をリノベーションし、12月1日に「SOMPOケア ラヴィーレ駒沢公園」（以下、ラヴィーレ駒沢公園）としてリニューアルオープンします。介護施設としては日本で初めての導入となる人工天窓照明を設置した他、ご利用者にとってより良いくらしとその継続を支援するため、さまざまな仕掛けを施しました。現在の、そして将来の生活者の住まいへのニーズを探求し、選べる自由と安らぎを得ることで、生きる喜びを分かち合えるホームを目指しています。

つきましては、11月26日（火）、27日（水）の2日間、地域の皆さまや報道機関の皆さま向けの見学会を開催しますので、ご案内します。

### 1. 背景と目的

超高齢社会の到来を迎えた日本では、人口減少や単身高齢者の増加、認知症や要介護認定者の増加、介護人材不足など、多くの課題が顕在化しています。一方で、生活スタイルや住まいに対するニーズもまた、時代とともに変遷を続け、画一的な介護からご利用者の個性性に寄り添った介護への転換や、ICT機器導入によるサービス品質の向上、生産性向上など、介護業界は大きな変革を求められています。

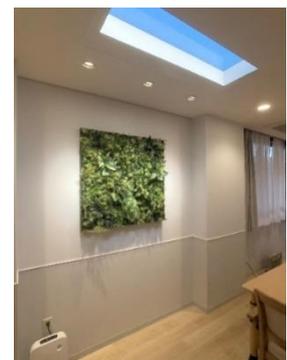
当社では、「未来の住環境」のあり方を考え、高齢者が自分らしく、認知症のある方や身体に障がいがある方も誰もが過ごしやすい、ユニバーサルデザインや機能的な住まいのあり方の検討を行っています。このたびラヴィーレ駒沢公園のリノベーションにおいては、心地よい空間や交流の活発化等を意図した内装リフォームに加えて、最新のICT機器の導入や、居室の扉シートや床材などをご利用者が選べるようにするなど、先駆的な取組みを積極的に取り入れました。

### 2. リノベーションの概要

ご利用者にとってより良い暮らしとその継続を支援するために工夫を凝らした、リノベーション内容の一部を紹介します。空間づくりにおいては、コンセプト形成から株式会社良品計画（以下、良品計画）とともに取り組み、現場スタッフの意見を交えながら進めた内容です。

#### （1）人工天窓照明の設置

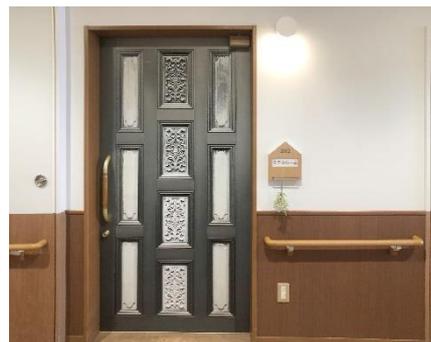
心地よい空間には、光や音、匂いなどの刺激も大切です。天井に設置した人工天窓は太陽の自然な光を再現します。外出の少ないご利用者も開放感を感じることができ、心理的ストレスを軽減する効果が期待できるとともに、体内時計の調整を支援します。当該照明は、介護施設としては日本で初めての導入です。



太陽の自然な光を再現

## (2) 選べる居室の扉シート ※有償

ご希望に合わせて、居室の扉シートをお選びいただけます。  
以前生活されていたご自宅の玄関扉の再現や、お好みの色、柄などの扉シートを貼ることで、ご自身の部屋であることが認識しやすくなります。  
ご自身で「選ぶ」こと、自分らしさを表すものがすぐそばにあることを大切にしています。



居室に扉シートを貼ったモデルルーム

## (3) ホーム内の交流活発化に向けた取組み

ダイニングには、会話を促す円卓を配置しました。認知症のある方は視野が狭くなり、周囲の人を認識しにくくなるがありますが、円卓では認識しやすく、周囲の人と会話がしやすくなります。さらに、ダイニングから続くウッドデッキでは、植物栽培などを通して活動の幅が広がり、ご利用者同士の交流が期待できます。

また、家族型ロボット『LOVOT（らぼっと）』のDUO（2体セット）を導入します。

LOVOTは、生き物のように愛らしく、温かみのあるロボット。言葉ではなく視覚・触覚など感覚的に感情に働きかけるため、より多くの方がコミュニケーションを取るきっかけになると考えています。



イメージ画像



イメージ画像

## (4) その他

### ① 麻畳の居室 ※有償

通常、ベッドで過ごす時間が多くなりやすい居室の床材を麻畳にすることで、居室内での移動スペースが拡大し、活動に広がりを持てます。また、よりご自宅に近い環境での生活継続が可能になります。

### ② 認識しやすいサイン

エレベーター一脇に、各階をわかりやすく表示しました。また、居室前の表札も一新し、見えやすい高さに設置。自室の目印として好きなものを掛けられる作りになりました。

### ③ 食へのこだわり

専門のスタッフが調理し、できたての食事を提供するためにキッチンをリフォーム。味、香り、彩り、温度、音などから、五感で「おいしい」と実感できる食事を提供します。季節を感じる行事食や、いつまでも口から召し上がっていただくために、咀嚼・嚥下機能の状態に合わせた形態食も充実しています。

④ 見守り支援システムの導入

全居室で、ベッドのマットレス下に睡眠センサーを設置。介護職員では正確な確認が困難である体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、睡眠状態を把握できます。既に当社複数のホームにて、ご利用者の睡眠の質向上と健康維持に繋がっています。

⑤ 離床アシストロボットの導入

ベッドが縦半分に分離して車いすとなる、離床アシストロボットです。移乗介助をする介護職員の負担が大幅に軽減されるとともに、起床から移動までの過程が容易になることでご利用者の生活範囲は拡大し、QOL（生活の質）向上が期待できます。

⑥ スタッフが働きやすい環境の整備

2018年から共同で「感じ良いくらし」の実現を目指す良品計画とともに、スタッフがリラックスした時間を過ごすことができる休憩室や、立ったまま打ち合わせができるカウンターを設置するなど働く環境を整備。スタッフにとっても過ごしやすい空間となりました。

### 3. 見学会について

(1) 日 時：2019年11月26日（火）13時～16時

2019年11月27日（水）12時～15時

(2) 場 所：SOMPOケア ラヴィーレ駒沢公園（東京都世田谷区深沢4-8-11）

(3) お申込み／お問合せ先

報道関係の方：SOMPOケア株式会社 広報部 （電話）03-5715-5533

一般の方：SOMPOケア ラヴィーレ駒沢公園 （電話）03-5760-1120

### 4. 今後について

当社はこれからも、ご利用者の介護や住まいに対するニーズ把握に努めるとともに、新しいコミュニティや関係性を構築する基盤を提供し、ご利用者のQOL（生活の質）向上や地域社会への貢献を目指します。

以上